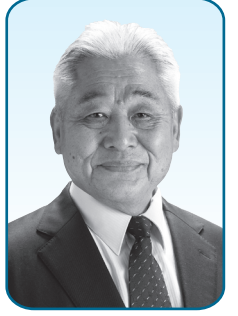


## 一般質問



すみの  
まさひろ  
角野 正明 議員  
自民党市政会



質問の様子は  
こちら！

小児慢性特定疾病を抱える子供とその家族に対する学校からの支援は

**Q** 治療期間が長くなることで学校生活や仲間との活動が制限されることも考えられる。学校からの支援策について伺う。

**A** 長期間の入院治療や校内での医療的ケアが必要な子供たちには1人1台端末等のICT機器を活用したオンライン学習や遠隔学習を実施し、学びの保障をします。

また、心理的な支援の一つの方法としてNPO法人未来ーSSEYが提供する交流支援ロボットの活用を考えています。これにより医療機関や自宅等からロボットを操作して学習に参加できるようになるため、今後、必要とする状況が発生した場合は、保護者や医療機関と連携しながら活用していきます。

(教育長)

質問の主な項目

・住みよいまちづくりについて

児童が地域の文化に親しむためのふるさと教育を

**Q** 地域の文化に親しみを感じるためにも有識者を招いたふるさと教育が重要と考える。各小学校の取組の現状や今後の方針を伺う。

**A** 本市では、郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実のため、令和3年度よりふるさと理解推進事業を実施しています。初めは小学校2校で実施し、令和4年度からは全小学校で実施しています。市内の各種施設や農園、さらに校区内での防災学習等、地域の有識者や専門家等の支援も得ながら各小学校が工夫して取り組んでいます。ふるさと学習の成果は、市教育文化祭や学校での学習発表会、学校HP等で発信しています。

今後は、中学校にも拡大し、ふるさと坂出を誇りに思う児童生徒の育成をしていきます。

(教育長)



うへはら  
ゆたか  
植原 泰 議員  
無所属



質問の様子は  
こちら！

学校部活動の地域移行に向けた環境整備を

**Q** 学校再編整備により廃校となる学校を部活動地域移行に伴う練習環境の整備に利用することについての市の見解を伺う。

**A** 学校再編整備については、今年度中の実施計画策定に向け取り組んでいます。学校再編に伴う学校施設の跡地利用については、今後地元の方々の意見も参考にしながら、有効な活用方法を検討していきます。

部活動の練習環境の整備に廃校を活用してはどうかとの提案については、貴重な意見として参考にしていきます。

(教育長)

質問の主な項目

・ウォーカーなまちづくりについて

ファミリーシップ宣誓制度の導入を

**Q** 性の多様性が広がる中、既に本市が導入しているパートナーシップ宣誓制度に加え、新たにファミリーシップ宣誓制度も導入すべきと考えるが、市の見解を伺う。

**A** パートナーシップ宣誓制度の宣誓者だけでなく、その家族も自分らしく安心して暮らせるよう、令和6年度よりファミリーシップ宣誓制度の導入を予定しています。

導入後は、市立病院における入院時等の病状説明、市営住宅の申込等の各種手続、救急搬送証明願等ができるよう拡充していく予定です。

本制度の導入により、性的マイノリティーの方々が抱える様々な不安や困難の軽減と多様な性への社会的な理解の広がり、偏見や差別の解消につながることを期待しています。

(市長)